

宜野座村を知る

本村は、古知屋岳・ガラマン岳・漢那岳が北風を防ぎ、海岸のイノリが漁場となつて、縄文時代から水場を抛り所に人々が生活していました。

琉球王府時代になると、古知屋（現・松田）・宜野座・惣慶・漢那の集落が形成されますが、各集落には現在も祖先が眠る聖域である御嶽が残っています。

明治の頃には、首里・那覇・泊の士族が古知屋や宜野座に寄留し、組踊「本部大主」や「宜野座の京太郎（県無形民俗文化財）」など士族の文化であった芸能を伝え、五穀豊穡を神に祈願する豊年祭（八月あしび）に取り入れられて現在まで継承されています。

昭和20年（1945年）の沖縄戦時、本村は本島中南部と異なり戦場にはなりませんでしたが、戦争の数年前から食糧増産を目的とした開拓集落が高松・福山・城原につくられ、米軍占領後には民間人の収容地域となつたため、約10万3千名の方々が本村で生活をしていました。

このように、本村には縄文時代から現代の歴史を語る自然・考古・民俗・芸能・沖縄戦など数多くの文化財が残されています。

Getting to know Ginoza Village

The Kochiya, Garaman and Kanna Highlands protect our village from northerly winds and the lagoons serve as fishing grounds. Ever since the Jomon Era, our people have relied on the waterfront for their livelihood.

The settlements of Kochiya (present-day Matsuda), Ginoza, Sokei and Kanna were established back in the era of the Ryukyu Kingdom, and the Utaki, or sanctuaries, in all these areas have been passed on from previous generations to the present.

In the Meiji Era, warriors from Shuri, Naha and Tomari migrated to Kochiya and Ginoza, bringing with them their traditions, such as the “Motobu-Ufunushi” kumi-odori and “Ginoza’s Chondara” (Intangible Piece of Folk or Cultural Heritage). These have been incorporated into our present-day celebrations, such as the Honen-sai (Hachigatsu Ashibi, or August Jubilee) where prayers are given to the gods for a bountiful harvest.

In 1945, unlike the south central regions of the main island of Okinawa, our village was not a scene for the war. Some years before the war, with the aim of increasing food production, the agricultural colonies of Takamatsu, Fukuyama and Shirohara were established, and, after the American Military Occupation, the area that is now our village became a civilian settlement with about 103,000 inhabitants.

The history of our village, dating back to the Jomon Era, speaks of nature, archeology, folklore, performing arts and the war in Okinawa, making for a rich cultural heritage.

宜野座村誕生

1946年4月1日、当時の金武村から宜野座、惣慶、古知屋、漢那の四集落が分離し、宜野座村が誕生しました。同年8月1日、のちの名誉村民・新里善助氏が第2代村長に就任しました。

戦後復興事業の開始

1948年より、村役所の建築、点灯事業、簡易水道事業などに着手。また、村内には宜野座総合病院、宜野座裁判所、宜野座警察署、宜野座地方刑務所などの公共機関が存続しており、他町村に先駆け、戦後復興事業が行なわれる要因となりました。



分村後の新興宜野座村歴代村長
左から森山徳吉初代村長、新里善助2代村長、
新里錦三3代村長と屋比久熟収入役昭和23年頃

戦後処理業務の基礎を確立

1950年9月3日に田端景俊氏が第4代村長に就任し、2年2ヶ月の在任期間中に、農業ダム建設を中核とした農業振興計画の立案、宜野座村農業改良委員会の設置、教育委員会制度の施行、土地所有者権照明の交付、戸籍事務の整備など戦後処理業務の基礎を確立しました。



琉球政府の設立

1952年2月、民政府布告13号「琉球政府の設立」が交付され、4月1日に琉球政府が設立されました。この年の11月21日、浦崎康裕氏が5代村長に就任、以来、1964年までの12年間の任期中に本村の二大政策である「農業立村」、

村のソフト面の開発

元号が昭和から平成に変わった1989年。その前年に14代村長に就任した伊藝宏氏は村保健健康相談センターの開設、村地域福祉センターの完成を手がけました。また、生涯学習の拠点としての村立博物館、漢那小学校50周年に伴う学校移転など、村のソフト面の充実を多数実現しました。

観光産業、情報化社会への参入

1999年12月30日に浦崎康裕氏が16代村長に就任。2期8年の任期中、「サーバーファーム整備事業」などを導入、情報や観光産業への積極的な参画に取り組み、2000年には、てんぷす宜野座村を宣言しました。以降、全国へそのまち協議会への参加等、県内外へ宜野座村を発信しています。また、2003年には阪神タイガース春季キャンプを誘致。その取り組みは現在も続いています。

新たな時代に対応する施策

2004年12月30日、18代村長に東肇氏が就任。これまでの政策を踏まえながら、新しい時代の流れや大きな時代のうねりに対応するべく村政の取り組みや

「教育立村」が確立されました。この二大方針は不動の政策方針として、歴代村長に引き継がれ、現在に至っています。



上：昭和28年元旦に影した村職員一同。下：当時の宜野座村役所



企業誘致を積極的に推進

1964年12月に與儀實清氏が8代村長に当選。1972年（本土復帰前後）まで2期8年間村政を担当しました。與儀村長は若年労働者の村内での雇用の拡大と基幹作物（さとうきび、パイナップル）の振興を目的に、タビオ力工場、パイナップル工場、製紙工場などの企業誘致を積極的に推進しました。しかし、当時の国際的な農産物自由化の影響等で誘致を進めることができませんでした。また、祖国復帰を叫ぶ社会運動が全琉で勢いを増していく時期でもありました。

あり方、「健康づくり」をキーワードとした村づくりに取り組みました。

施設面では「宜野座ドーム」が2006年、「宜野座村サーバーファーム」第2サーバーファームが2009年に完成しました。また、「健康宣言の村」、「有機の里宜野座村」宣言、宜野座村宮学習塾「21世紀みらい」の開講なども行いました。

24年ぶりの民間出身村長誕生

2012年12月30日、第20代村長に當眞淳氏が就任。24年ぶりの民間出身村長として、「子どもたちの瞳が輝き、村民の笑顔溢れる村づくり」を基軸に村づくりに取り組みことを発表。

2013年6月からは「宜野座村元気むらプロジェクト会議」がスタートし、役場の若手職員がスキルアップ研修や先進地調査などを行い、政策提言までを行いました。

また、同年7月には松田地区史跡公園及び体験交流センター、10月にはかんぱなパークゴルフ場がオープンし、村内の観光施設の充実が図られました。



原稿協力／宜野座村立博物館

村の歴史を知る文化財

写真提供・原稿協力／宜野座村立博物館

【村指定文化財(史跡)】

松田の馬場及び松並木

松田

松田小学校には、明治の頃に首里から寄留した「ティーラタンメー」が造り、古知屋(現在の松田)の人々が草競馬を楽しんだという「松田の馬場及び松並木」があります。同馬場は全長250メートル、幅25メートルで、左右に松を植林して見物場が設けられていました。現在、松並木は美しい景観をつくっています。

Village Designated Cultural Heritage (Historic Sites) Matsuda Hippodrome and Pine Tree Colonnade

At the site of what is now Matsuda Elementary School exists the “Matsuda Hippodrome and Pine Tree Colonnade”, which was constructed by the “Tiiratanmeh” who migrated from Shuri so that the people of Kochiya (present-day Matsuda) could enjoy local horse races in the Meiji Era.

The racetrack is 250 meters long and 25 meters wide, with pine trees planted on either side of the track that made for quite a spectacle during races. Today, the Matsuda Colonnade makes for a beautiful sight.

前原遺跡

松田

字松田の前原海岸には、約三千年前の籠(バーキ)に入ったオキナワウラジロガシの実が発見された「前原遺跡」があります。何百、何千年前の遺跡では植物性の物は朽ちてしまうのですが、同遺跡の調査によって縄文時代の人々が木の実を食べる目的で水に浸けてアクを抜いたり、貯蔵したりしていた事がわかってきました。



Maehara Remains

In a section of Matsuda, you can find what is referred to as the Maehara Remains. At this site on Maehara Beach, a Baaki (ancient Okinawan basket) from approximately 3,800 years ago was found containing Quercus Miyagii (Luchu Oak) acorns.

After hundreds or thousands of years, plant life in such a site is meant to decay, but a study revealed that people in the Jomon Era submerged such fruit in water to remove impurities and preserve them for consumption.



大川グシク跡 (宜野座ヌ古島遺跡)

宜野座

字宜野座の古島には、「宜野座ヌル殿内の拝所」があり、大川按司が住んでいたという伝説から「大川グシク」とも呼ばれています。同グシクの周辺は、何段も削平された地形となっており、石積の痕跡も確認できる為、防御を意識した様子がうかがえます。また、発掘調査では12、14世紀の中国産陶磁器などが出土しています。



Okawa Gushiku Ruins (Furujima, Ginoza Site)

In a section of Ginoza called Furujima, you can find the “Ginoza Nuru Sanctuary” where legend says that Okawa Aji once lived and is also known as the Okawa Gushiku (Fortress).

In the area surrounding the Fortress, you can find an interesting topography that suggests a use of masonry techniques for defense and protection. During excavation of the area, they found Chinese pottery from the 12th to 14th centuries.

惣慶の石敢當

惣慶

(安部岳の返し)

字惣慶の古い集落境には、「イシガントウ」と呼ばれる石獅子が東西北に配置されています。

惣慶では、恩納岳・久志岳・安部崎の方向から吹く風が災いを運んでくると考えられていたため、厄除けの目的で集落の入口にイシガントウを置いたと伝えられています。

また、旧暦9月5日には牛を潰し、集落の3箇所にあるイシガントウに肉を供えて厄払いをする「シマカンカー」という行事が行われています。



惣慶のウガン

惣慶

(お宮)

字惣慶には「ウガン」と呼ばれる御嶽があり、1713年に琉球王府が編纂した『琉球国由来記』には、御嶽名「マチョウガマノ嶽」、神名「アラハタヨリフサノ御イベ」と記載されています。

1942年(昭和17年)、同御嶽に神社風の神殿が造られ、イザナミノミコト・ハヤタマノミコト・コトサカノミコトの神々を「波の上宮」より分神して祀って以後、惣慶のウガンは「お宮」と呼ばれるようになりました。

また、惣慶のウガンには数本のオキナワウラジロガシが生育していますが、1955年(昭和30年)頃まで林業が盛んであった本村地域において、現在も集落内にオキナワウラジロガシが残っているのは、当地が惣慶の人々にとって大切な聖地であったことから、木々の伐採が控えられた為と考えられています。

The Ugan of Sokei (Shrine)

In a section of Sokei, you can find sacred sites called “Ugan”. In 1713, the Ryuku Monarchy compiled the “Origins of the Ryuku Country” and referred to the Ugaki as “Machougamano Dake” or by the sacred name “Arahatayorifusano On-ibe”.

In 1942, at the site of this Utaki, they built a shrine-like structure, moving the gods of Izanami-no-mikoto, Hayatama-no-mikoto and Kotosaka-no-mikoto from the “Naminoue-gu Sanctuary” to the new structure and calling it Omiya Shrine.

Until 1955, the forestry industry was booming and many Quercus Miyagii (Luchu Oak) had been planted around Ugan in Okinawa. Even after the industry slowed, it is thought that the people of Sokei continued to tend to the Luchu Oaks without cutting them down because they believed the area to be sacred.

The Ishigantou of Sokei (Shigandang) (Precaution from Abe Mountain)

In a section of the old settlement of Sokei, you can find what is known in Japanese as “Ishigantou”, or Shisa in Okinawa. These Ishigantou were strategically placed on the North, South and West sides of the area to protect the entrances to this settlement from what the people of Sokei believed to be evil winds blowing from Mt. Onna, Mt. Kushi and Abuzaki.

On the 5th day of the 9th month of the lunar calendar, they have a ritual where they sacrifice cows at the three Ishigantou sites to drive away evil.



漢那ウエーヌアタイ

漢那

漢那集落の東にある森は、ウエーヌアタイ(俗称:ヨリアゲの森公園)と呼ばれ、石灰岩地帯と非石灰岩地帯の異なる環境で生育する植物が分布する貴重な森となっています。

また、県内で最大規模といわれるアマミアラカシ群落を有し、11、12月頃になるとアマミアラカシの実(ドングリ)が拾えます。

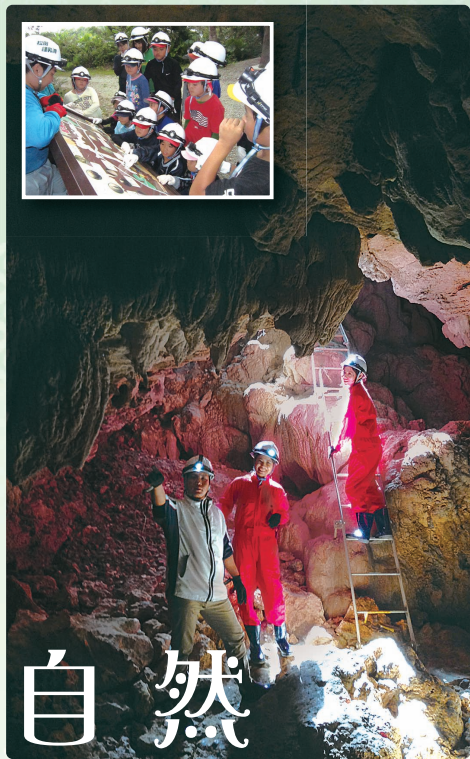
なお、発掘調査ではグスク時代に鍛冶場が営まれていた事が確認されており、森の洞穴には琉球王府の御用木として位置づけられていたチャーギ(和名:イヌマキ)で造られた木製家型墓も残っていました。

Kanna Uenuatai

In the west of the Kanna settlement, there is a forest called “Uenuatai” (known as the Yoriage Forest Park in our vernacular) and the vegetation is dispersed all over the various limestone and non-limestone environments, making it a unique and valuable forest.

You can also find the largest Okinawan Blue Oak Forest in the prefecture here, where between November and December there is large-scale harvesting of acorns.

In an excavation of the cavernous area of the forest, they discovered that during the Gusuku Era you could find smithies here and that the Ryukyu monarchy planted the oaks as sacred trees. They also found remains of wooden catacombs made from Chagi (Japanese name: Inumaki, or “Japanese evergreen”).



自然

松田鍾乳洞・メーガー遺跡

県内でも古い鍾乳洞のひとつで、子供心をくすぐるようなスベクタクル体験ができる鍾乳洞です。全長約200メートル。メーガー遺跡は小高い山にあり、太陽光が届かない程の深い崖が下に延びています。グスク時代の土器や青磁器、王府時代の焼物などが発見されています。



宜野座村文化センター

図書館棟と劇場棟からなる複合文化施設。民俗芸能を中心とした村民の文化活動を支援し、村民劇や公演、コンサートなど自主企画事業も含めて積極的に取り組んでいます。



文化



歴史



宜野座村立博物館

数多い展示の中でも、遺跡から出土したオキナワウラジロガシ(前原遺跡)は、縄文時代の食生活を考える上で貴重。県内でも数少ない木製家型墓(漢那ウェーヌアタイ)も展示しています。また、本村の伝説や沖縄戦時の様子などを題材にした紙芝居は、大人から子どもまで人気があります。

いちご狩り



漢那ビーチ



湯原の干潟



宜野座村の観光のコンセプトは「ありのままの宜野座」を訪れる人に体験して頂くことです。そのため、水や緑、伝統芸能や歴史といった豊富な地域資源を活用して、農業体験や鍾乳洞探検などの観光プログラムを提供しています。また、村立博物館や村文化センターでは紙芝居や展示、村民劇などで村の歴史や文化を学ぶことができます。他にもゴルフ場や野球場、海洋型健康増進施設やシーカヤック体験プログラムなどリゾート気分が味わえ、健康づくりにも効果的なプログラムの開発と提供にも取り組んでいます。

Utilizing Nature, Culture and Industry Ginoza-style tourism

Ginoza's concept for tourism is to let visitors experience Ginoza "just the way it is".

We aim to make full use of our rich water, natural, cultural and historical resources by proving tourists with an array of attractions. On the nature side, tourists can enjoy activities such as farm visits and limestone cave explorations. On the cultural side, tourists can visit the Village Museum or Village Culture Center, where they can enjoy Kamishibai (literally "Paper Theatre"), exhibitions, village plays, etc., while learning about our village history and culture.

But that's not all! We are also working hard at developing and offering tourist attractions that contribute to good health and fitness, such as visits and activities at the golf course, baseball field and our Maritime Health Facility (public gymnasium), as well as resort-like activities such as sea kayaking.



海の恵美で心も体もリラックス

Kariyushi Kanna Thalasso Laguna

(かりゆしカナタラソラグーナ)

海洋資源を利用したタラソセラピーが満喫できる施設。海水の持つ物理的作用と、宜野座村の美しい自然がもたらす癒し効果で、心身ともにリラックス。



宜野座カントリークラブ

東海岸の真っ青なオーシャンビューを望みながらプレイを楽しむ、南国情緒溢れるゴルフ場。大自然に囲まれた戦略的コースは、プロも絶賛。

Golf



かんなパークゴルフ場

子どもからお年寄りまで気軽に楽しめるパークゴルフは、県内で人気があります。家族みんなで楽しめる全18ホールの豊富なコース。



プロ野球キャンプ

村が作成した観光PRポスター4種
第62回日本観光ポスターコンクールで総務大臣賞を受賞

宜野座満喫体験



宜野座村には、自然や歴史・文化を学び、体験するイベントやプログラムがたくさんあります。

宜野座村の観光情報は、宜野座ナビ助で！

宜野座ナビ助 検索
<http://ginozanavi.com/>



シーカヤック体験



近海沖釣り体験



マリンレジャー



朝に松田集落を歩くお年寄り、昼はガジュマルで遊ぶ子どもたち、夕方は惣慶区の仲間商店に集う婦人や子どもたち、夜は宜野座村の星空を映し出している。

自然・文化・産業を活かす ぎのざ型観光

自然の恵みを活かした 特産品



アイスプラント

キラキラとした水晶のような粒とプチプチとした食感、ほのかな塩味が特徴。

エコ野菜

県内量販店へ出荷する農産物、化学肥料を使わない体に優しい野菜「ベビーリーフ」は人気。



宜野座産 いちご

栽培しているのは、果肉がやわらかく香り高い「かおりの」と甘みと酸味のバランスが良い「さちのか」の2品種。いちご狩りも人気で、1月～5月頃まで楽しめます。

詳しくは
<http://ginoza-ichigo.net/>



昔ながらの懐かしい味 宜野座のお菓子

いちゃがりがり・砂糖粉菓子・塩せんべい。沖縄の子供たちが昔から口にするあのお菓子は、実は宜野座村でつくられています。

☎098-968-2200
新里食品／宜野座村字惣慶1587



じゃがめん

県内を代表するじゃがいもの産地でもある宜野座村が村おこしに繋げようと開発した麺。沖縄そばに蒸してつぶしたじゃがいもを練り込んだ麺は、歯ごたえとぶちぶちとした食感が人気。



生もずくと 手づくりタレ

沖縄の食材として知られるもずくは、低カロリーでミネラルや食物繊維を多く含む健康食材。宜野座のきれいな海で養殖されたものは良質です。手づくりのもずくのタレも好評。

県拠点産地認定 マンゴー

宜野座村はマンゴーの作付面積が県内三番目。地形を活かした栽培方法で、太陽をいっぱいにあびたマンゴーは、糖度が高く美味しいと評判です。2013年には県の拠点産地にも認定されました。



マフィン

にんじん、かぼちゃ、ドラゴンフルーツなど味も豊富でやさしい甘さが人気です。



☎098-968-8376
ぎのざジャム工房／宜野座村字惣慶1853-1



車エビ

宜野座で養殖される車エビは大きいことで知られています。冷凍物は通年出荷されています。



☎098-968-4520
未来ぎのざ／宜野座村字漢那1633
営／8:30～19:00 休／無休 駐／有り

宜野座村では、サトウキビをはじめ、イチゴやマンゴー、パイナップル、ジャガイモ、菊、観葉植物など様々な農作物が栽培されていますが、特に近年ではベビーリーフやアイスプラントといったエコ野菜に力を入れています。また、もずくや車エビといった海の幸も養殖され、その鮮度を活かしたグルメスポットや匠の技がキラリと光る伝統工芸品も有名で多彩なデザインがあります。この特産品の数々を取り揃え、県内外から多くの人が訪れる「未来ぎのざ」は、商品開発から販売までをサポートする大切な加工直売センターです。

三線

沖縄の民謡、古典音楽には欠かせない楽器。手づくりで丁寧に作られたその音色は素朴で温かみがあります。



琉球泡盛 宜野座のしずく

地元商工会が村民に愛される宜野座ブランド泡盛開発事業として、崎山酒造廠と協力し独自にブランド化したお酒です。地元の天然水と崎山酒造廠の醸造技術を活かし黒糖酵母を使用することで、より飲み易いやさしい味に仕上げました。

陶器

村内には、「ちな陶房」と「くちや窯」という2つの窯元があります。各窯元の特徴ある色彩とデザインは「未来ぎのざ」でご覧頂けます。



沖縄のお茶発祥の地 宜野座のお茶

宜野座村は、沖縄のお茶発祥の地。琉球におけるお茶の栽培は、『琉球国由来記』によると1623年(天啓3)金武王子朝貞が茶の種子を薩摩から持ち帰り、現在の宜野座村漢那に栽植したことに始まると言われています。漢那ダム湖の公園には、沖縄茶発祥の地を顕彰する碑が建てられています。

☎098-968-2704
宜野座茶業／宜野座村字漢那1677-4

Making use of nature's bounty Signature products

In Ginoza Village, we cultivate a number of agricultural products, from sugarcane to strawberries, mangoes, pineapples and potatoes through to chrysanthemums and houseplants, and in recent years we have been working on cultivating such eco-friendly vegetables as mesclun greens and crystalline ice plants.

We are also concentrating on aquafarming and the cultivation of marine products such as mozuku seaweed and Japanese tiger prawns. You can also find delicacies made from ingredients that enhance their freshness, as well as traditional crafts with dynamic designs that demonstrate a fine craftsmanship.

Many people from within and outside of Okinawa come to the Local Farmers' Market and Shop, which houses tons of these signature products to enjoy a piece of the "Future Ginoza". The Market and Shop handles everything from product development to sales.



そば屋あじまー
そば天

☎080-1761-4987

宜野座村字松田1048-2

衝撃の巨大かき揚げがのった沖縄そば。旬の野菜がふんだんに入ったかき揚げは約40センチ!サクサクでダシの効いたそばとよく合います。店主の遊び心から生まれた一品に挑戦してみてください!



cream cream(クリームクリーム)
ぜんざいクリーム

ふくら炊かれたあずきの黒糖ぜんざいの上に、県産の生乳と黒糖を使った無添加のソフトクリームをのせた贅沢な一品。

☎080-2700-9920

宜野座村字漢那1633
(未来ぎのぞ隣接施設)



食事&喫茶 恵ちゃん
肉そば

村民が集う地元で愛される食堂の肉そばは、ボリューム満点!沖縄そばの上に豪快に盛られた野菜チャンプルーと三枚肉は食欲をかき立ててくれます。有名人も多く訪れる。

☎098-968-4579

宜野座村字宜野座330

グー 当地 ル メ

宜野座に来たら一度は食べて!



カフェアジュール
フーチバーガー

☎098-968-8376

宜野座村字惣慶1853-1



炭火屋てんぷす
紅豚バーガー

☎098-968-5808

宜野座村宜野座663-49 2F

イカスミを練り込んだパンズに、アグー豚のジューシーなパティ。もずくや黒ごまを使ったソースで!



カンナリゾートヴィラ
宜野座黒兵衛

☎098-968-7011

宜野座村字漢那397-1

アグー豚のスライス肉を甘辛和風ダレでからめ、パリパリ食感のじゃがめんがアクセントに!



豚我どんかつ
じゃがめんバーガー

☎090-6856-4429

宜野座村字漢那1633 (未来ぎのぞ隣接施設)

新しい宜野座名物
宜野座
バーガー

太陽亭
骨汁そば



車えびレストラン 球屋
活き車えび天丼

併設する養殖場で育てた車えびは、活きが良く旨味が強いのが特徴。そのプリプリの食感と鮮度を楽しめるのが嬉しい。

☎098-968-4435

宜野座村字宜野座1008

自慢のハンバーグは宜野座産の紅豚を使用。スパイシーな味で、地元産パインを使用したフルーティーなデミグラスソースとの相性もピッタリです。2013年やんばるの産業まつり推奨品として認定され、イベントなどで出店する移動販売車のみで食べられる!

☎098-968-4520

宜野座村字宜野座663-49 2F



炭火屋てんぷす
琉球ロコモコ

丁寧にアクをとった澄んだスープとやわらかく煮込んだ肉がたっぷり付いた豚のダシ骨が絶品。宜野座名物の「じゃがめん」か細麺を選べる。

☎098-968-4649

宜野座村字漢那1633 (未来ぎのぞ隣接施設)

詳しくは、
宜野座村商工会
<http://www.3.ocn.ne.jp/~ginoza/>
宜野座村観光推進協議会
<http://ginozanavi.com/>

